



広報 東京都

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT NEWS

2025年9月開幕
世界陸上

2025年11月開幕
デフリンピック

広報東京都 令和6年11月号表紙

スポーツ・パラスポーツ振興について

東京2025世界陸上
東京2025デフリンピック
に向けて

東京2020大会のレガシー

東京2020大会は、ハード・ソフト両面で社会変革の大きな転換点となり、
多くのレガシーを東京にもたらした



バリアフリー化の推進



スポーツ施設の整備・充実



スポーツ実施率の向上
スポーツイベントの増加



パラスポーツの普及



ボランティア文化の定着



子供たちへの教育的意義



サステナブルな社会への道筋を示す取組
(都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクトなど)

スポーツには、社会を変える力がある
東京2020大会の経験を生かし、スポーツの力を、東京の発展と成熟につなげていく 1

スポーツを通じ明るい未来の東京を実現

基本理念

誰もがスポーツを楽しむ東京を実現し、
一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する

※作成中の「（次期）東京都スポーツ推進総合計画」中間まとめより抜粋

一人ひとりの健康と幸福を実現



- ・スポーツをすることへの関心喚起
- ・スポーツを始める機会の提供、創出
- ・子供、働き盛り世代、高齢者のスポーツ振興
- ・アスリートの競技力向上

地域・経済の活性化



©東京マラソン財団

- ・国際スポーツ大会に向けた取組
- ・東京を活性化させるスポーツイベント等の展開
- ・地域におけるスポーツ活動の推進
- ・スポーツ観戦の魅力発信、みる機会の創出

共生社会を実現



- ・パラスポーツの理解促進、普及啓発
- ・誰もが気軽に楽しめるユニバーサルデザイン志向のスポーツ環境整備
- ・それぞれのレベルに応じたスポーツを楽しむ
- ・スポーツを通じた国際交流

スポーツの持続可能性を追求



- ・都立スポーツ施設の整備、運営
- ・都内のスポーツ環境の整備
- ・環境に配慮した施設、大会運営
- ・スポーツを支える人材の確保、育成、活動支援
- ・スポーツによる事故防止等の推進、暑さ対策

世界陸上・デフリンピックを好機と捉え、こうした多角的な取組を加速させていく

東京2025世界陸上 9月13日(土)~9月21日(日) 国立競技場
JAPAN NATIONAL STADIUM 13-21 SEPTEMBER 2025



Every second, Sugoi.

TOKYO 25
WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 25

東京2025世界陸上公式ポスター



東京2025世界陸上
公式 マスコット

開幕まで
あと222日!



参加国・地域

約 200 カ国・地域

参加選手

約 2,000 名

種目数

49 種目

マラソンコース

東京2025 デフリンピック

デフ(きこえない・きこえにくい)アスリートのための
国際スポーツ大会

2025.11.15-26



東京都

デフリンピック メダリスト
陸上 山田真樹 選手

デフリンピック メダリスト
卓球 亀澤理稀 選手

世界のデフアスリート
東京集結



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

- 1 東京体育館
開閉会式・卓球
- 2 駒沢オリンピック公園総合運動場
陸上・ハンドボール・バレーボール
- 3 大田区総合体育館
バスケットボール
- 4 大森ふるさとの浜辺公園
ビーチバレーボール
- 5 日比谷公園
オリエンテーリング
- 6 有明テニスの森
テニス
- 7 東京アクアティクスセンター
水泳
- 8 若洲ゴルフリンクス
ゴルフ
- 9 東京武道館
柔道・空手
- 10 味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
射撃
- 11 中野区立総合体育館
テコンドー
- 12 武蔵野の森総合スポーツプラザ
バドミントン
- 13 府中市立総合体育館
レスリング(フリースタイル)・レスリング(グレコローマン)
- 14 東大和グランドボウル
ボウリング
- 15 伊豆大島
オリエンテーリング
- 16 日本サイクルスポーツセンター(静岡県)
自転車(ロード)・自転車(MTB マウンテンバイク)
- 17 Jヴィレッジ(福島県)
サッカー

開幕まで
あと285日!



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

参加国・地域

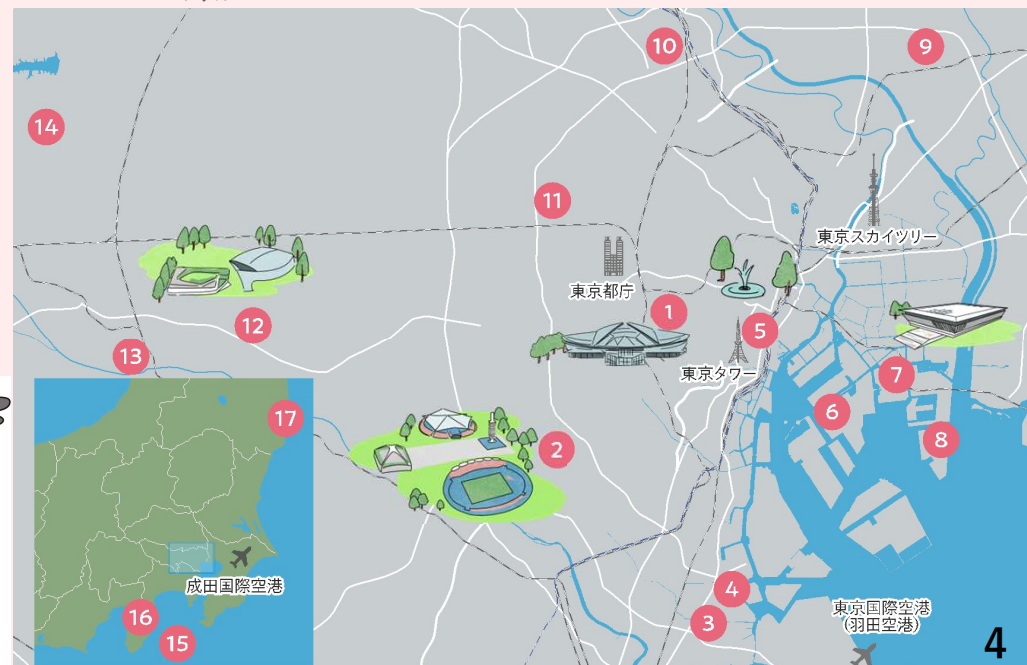
70~80 カ国・地域

参加選手

約3,000人

競技数

21 競技

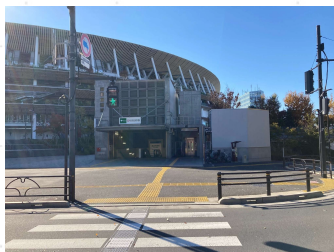


世界陸上・デフリンピックを東京の新たな活力に

世界陸上とデフリンピックにおいても、東京2020大会のレガシーを継承・発展させながら
多角的な取組を展開し、スポーツの力で東京の未来を切り拓いていく

2020

2025



ハード・ソフト両面で東京の
バリアフリーが大きく進展

- ・ 鉄道駅のホームドア整備
- ・ 心のバリアフリーの推進



「いつでも・どこでも・誰とでも」
公共施設や駅などにおけるデジタル
技術を活用したユニバーサルコミュ
ニケーションの促進



都市鉱山（小型家電）から製作
したメダルなどサステナブルな
取組を展開



次世代型ソーラーセルや
SAF（持続可能な航空燃料）の活用、
ボトルtoボトルリサイクルの推進



全国の小学生の投票で
大会マスコットを決定



両大会のロゴ・エンブレムや
メダルデザインなど、
大会のシンボル制作に子供たちが参画

都と区の連携した取組①

子供たちの参画

<これまでの取組>

○デフハンドブックの配布

- ・都内区市町村の全小学校1,382校の4～6年生約34万人に配布

○デフリンピックのメダルデザイン投票

- ・全国約8万人の小中高生による入賞メダルのデザイン投票を実施



デフハンドブック



メダルデザイン投票

<これからの取組>

○観戦・体験活動の機会を提供

- ・両大会において臨場感あふれる会場での観戦を通じ、子供たちに夢と希望を届けるため、都内の子供たちを両大会の競技観戦に招待



- ・スポーツの素晴らしさや多様性・共生社会などを学ぶ体験活動の機会を都内の子供たちに提供

○スポーツドリル（仮称）の配布

- ・子供たちに陸上競技と上手な体の動かし方を知ってもらい、気軽かつ継続的に取り組める内容の冊子を作成
- ・都のHPで公開するとともに、冊子を都内区市町村の全小学校の4～6年生全員へ配布



➤ 都区の連携で、子供たちにかげがえのない成長と学びの機会を創出

都と区の連携した取組②

UC技術の普及

<これまでの取組>

○ユニバーサルコミュニケーション（UC）機器の活用

- ・ 都庁舎など、全38施設の都有施設に、音声を多言語で表示する透明ディスプレイを設置
- ・ 鉄道駅では、アナウンスを多言語でスマホに表示するシステムを導入
- ・ 各区でも、機器導入に対する都の補助を活用し、多言語翻訳タブレット等を導入



透明ディスプレイ

<これからの取組>

○UC機器導入支援

- ・ 引き続き、情報バリアフリーの取組を促進するため、「ユニバーサルコミュニケーション技術導入に係る推進事業」を継続し、各区の施設への機器導入に対して支援を実施

➤ 都区の連携で東京2020大会のレガシーをさらに発展させ、共生社会への歩みを加速



多言語音声翻訳アプリ

都と区の連携した取組③

気運醸成

<これまでの取組>

- ・ 区の広報紙などでの大会PR
- ・ 地域のイベント等にブース出展
(R5 : 108回、R6 : 90回(12月末時点))
- ・ 東京2025デフリンピック公式マスコット「ゆりーと」と自治体等のキャラクターによるデフリンピック応援隊の結成

➤ 都内のデフリンピック認知度が急速に上昇

(R5 14.8% → R6 39.0%)

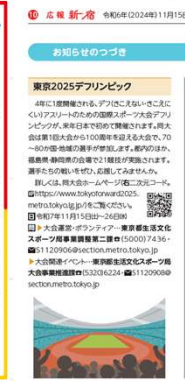
<これからの取組>

- ・ 地域のイベントでのPR
- ・ デフリンピックにおける新しい応援の型「サインエール」の活用
- ・ 会場のフルスタジアム化に向けた気運醸成

➤ 都区や地元の当事者団体等と連携し、積極的な大会PRや共生社会の実現に向けた更なる気運醸成



イベントブース出展

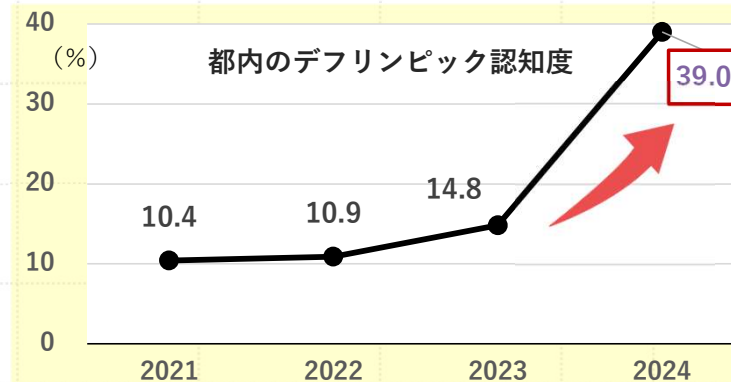


2025年、東京でデフリンピックが開催されます！
～北区は対象の競技会場です～

デフリンピックは、4年に1度開催される、デフ(聞こえない)とこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会で、2025年に開催される東京大会は、日本初開催、第1回大会から100周年となる、歴史に輝く大会です。皆さんもぜひ、この歴史あるイベントに参加して、選手たちを応援しましょう。

大会名称 東京2025デフリンピック
会場 都庁舎(都庁本庁舎)・都庁舎(都庁本庁舎)・都庁舎(都庁本庁舎)
大会期間 令和7年11月15日～26日(12日間)
競技種別 21競技
参加国 70～80か国・地域
選手数 約3,000人

各区の広報紙でのPR



(参考) 海外諸国のデフリンピック認知度
アメリカ 39.8% ブラジル 38.0% 韓国 30.1%
イギリス 28.4% ドイツ 21.6% フランス 18.6%

※日本財団調査 (2021年) より



都市プレゼンスの向上



感動や興奮の体感・共有
スポーツへの関心喚起

国際スポーツ大会開催が 東京にもたらすもの



多様性を認め合う
共生社会の実現



子供たちに夢や希望を贈る
世界へ視野を広げる

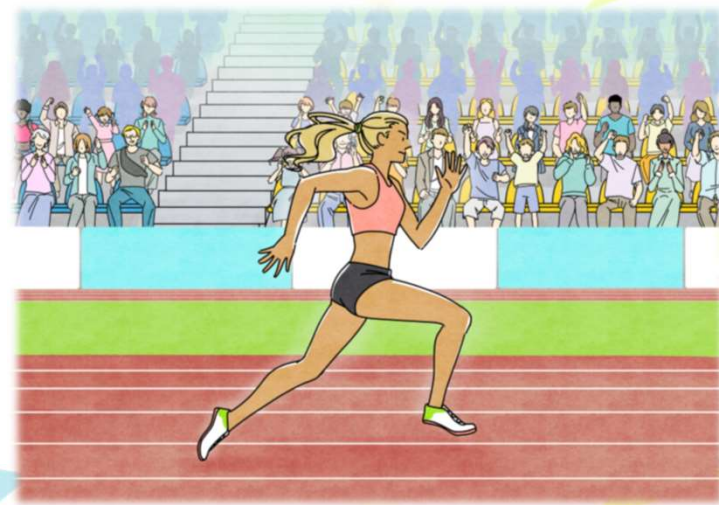


ボランティア文化の定着

©東京マラソン財団



地域・経済活性化



都区で連携し、東京に様々なレガシー・価値を！

